

第5回 飯綱町輝く農山村地域創造推進企画会議

1. 開催概要

○日 時 令和7年2月18日（火） 15:00～17:00

○場 所 飯綱町民会館 元気の館

○出席者

〈委 員〉

土倉委員、山田委員、廣田委員、久保田委員、中村委員、中條委員、植田委員

〈地域おこし協力隊〉

三原委員、石川委員、奥村委員、佐藤委員、飯森委員、木内委員、鏑木委員、鈴木委員

〈事務局〉

産業観光課：清水課長

産業観光課農政係：土屋調整幹、西澤係長、原田担当係長

株式会社 KRC 小林、木下

〈一般参加〉

相澤氏、吉川氏

○欠席者

〈委 員〉古木委員、西澤委員、山下委員、藤原委員、天野委員、小野委員

〈地域おこし協力隊〉原口委員、山城委員

2. 次第

1) 開 会

2) あいさつ

3) 前回会議の振り返りと本日の会議の位置づけ

4) ワークショップ

（1）日本一のりんごの町ビジョン（素案）について

（2）ビジョンに位置づけた取組の次年度企画

5) その他

6) 閉 会



3. 会議概要

1) あいさつ

○ 清水課長のあいさつ

お忙しいなかお集まりいただき、大変ありがとうございます。

この数日は冬型の気圧配置の影響で、寒さや降雪により、交通などへの影響も心配されている。町のりんご畑を見渡すと、道路沿いの条件のよい園地や、雪があっても畑に入れる園地では、剪定作業が進んでいると感じる。気圧配置が変わることで暖かい日も増えてきているが、りんごは、この時期に気温が上がると生育が進み、春先の遅霜の影響が心配になるため、農家としては、気象状況は気になるものだと感じる。

今回で5回目の企画会議となる。委員の皆様には、りんごを核に地域資源の魅力を活用し、輝く農山村を目指した取組の企画検討を行っていただいた。これまで町は、総合計画のなかで「日本一のりんごの町」を重点プロジェクトに掲げ、基幹産業の農業を元気にする取組を行ってきた。6次産業の手法を学び、農家の向上のために、農産物のブランド化や農産物直売所の経営等の強化、加工技術による活用、りんご学校を代表とする関係人口の強化等を努めている。

この企画会議は議論を中心に進めており、委員の皆様には負担をおかけしていることと思う。皆様からいただいた意見をもとに、目標を設定し、いくつかの新たなプロジェクトの具体化が進んでいる。いただいた意見やプロジェクトを、輝く農山村の実現に向けて大切に育てていきたい。大きな目標の実現に向けて、今後も委員の皆様にご協力をお願いする場面が多々あるかと思うが、引き続きよろしくお願いしたい。

2) 前回会議の振り返りと本日の会議の位置付け

資料1及び資料2により、前回会議の振り返りと本日の会議の位置づけについて事務局より説明を行った。

3) ワークショップ

(1) 日本一のりんごの町ビジョン（素案）について

計4回の会議での意見や次年度以降の取組等を反映した資料3「日本一のりんごの町ビジョン（素案）」をもとに、ビジョンの将来像、目標及び次年度以降の展開について説明を行った。

また、令和7年度の展開に向け具体化された取組について、事務局から説明するとともに、当該各取組の関係者に説明いただいた。以下に各取組の概要をまとめる。

○取組1「クッキングアップル活用プロジェクト」の次年度以降の展開

現在供給過多となっているブラムリーをどう販売につなげるか、また、「クッキングアップルといえば飯綱町」と言われるように、ブランド化を図ることを、約3年をかけて取り組んでいく予定である。品種は、ブラムリーに限らずグラニースミスなどの海外品種も含め、クッキングアップル全体のブランド化を進めていきたい。

また、ホットアップルサイダーを飯綱町の新たな名物として定着させたい。来年度は、例えばリンゴスイーツフェアで、スイーツだけでなく、リンゴを使った新たな楽しみ方としてホットアップルサイダーを提案したり、飯綱町だけでなく、リンゴの生産がない野沢温泉などの地域とも連携し、この加工品を活用してもらう仕掛けを検討している。

○取組2「サステナブルりんごプロジェクト」の次年度以降の展開

町も共催として参加し、JA ながの飯綱りんご部会が中心となり、プロの農家のための講習会を実施する予定である。また、計画段階だが「やる気があればちゃんとつくれる、ちゃんと稼げる」を目標に、基礎技術の習得から応用、収益についても含めて1年間かけて学ぶ講座を開く予定である。

○取組3「りんご関連作業体験化プロジェクト」の次年度以降の展開

インターネットサービス事業者がもっている多くの情報（飯綱町やリンゴに興味を持つ人々の情報）を、これらの事業者と協力して集め、それらの情報をもとに、飯綱町のファンクラブのようなリストを作成し、町から様々な情報を発信することで、関係人口の創出を目指す。この取組で、町のイベントの紹介やふるさと納税などにつなげていきたい。

○取組5「りんごで健康促進プロジェクト」の次年度以降の展開

順天堂大学とのストレス軽減効果に関する実証実験の結果はまだ出ていないが、一定の効果が期待されている。この結果をもとに、来年度は企業向けの農作業体験の実証実験を進めていく予定である。

○取組6「なんでもりんごプロジェクト」の次年度以降の展開

リンゴに関する情報をワンストップで提供するポータルサイトの開設については、先に説明があったとおり、三原氏の提案をもとに実現を目指している。

（2）ビジョンに位置づけた取組の次年度企画検討

ワークショップは、「将来の夢を思い描きながら、次年度に向けて取り組みそうな内容をみんなで楽しく語り合う。」をテーマに、次年度以降の具体的な企画が決まっていない、取組4「りんご園活用プロジェクト」と取組7「いいづな推しりんごプロジェクト」について、みんなで（より多くの人を巻き込みながら）、試行的に実践できる・実践してみたい取組の企画案を検討するワークを実施した。対話をしながら、各取組のワークシート（次ページ：A0判）に、意見を記入した付せんを貼り付けて整理した。

A 班のワークシートと発表内容

取組 4 りんご園活用プロジェクトに対する意見・アイデア
・ 飯綱町のりんご園の差別化が大事
・ りんご園に防草にもつながるハーブや草花を植えて差別化
・ E バイクは乗り捨て可 GPS で位置を把握
・ E バイクの活用 拠点から農園までの移動手段
・ 農家を見つける
・ 協力する農家が直接メリットを享受できるようにした方がよい
・ 景観の調査
・ 写真コンテストとの連携 賞品で魅力化
・ キャンプ→霜対策
・ 使えるりんご畑のマッピング
・ 花の咲くような草のタネを撒いてしまう
・ りんご園と周辺環境の調査
・ 場所の選定 ・ 権利関係 ・ 所有者の意思 ・ 駐車場/トイレ
・ 駐車場やトイレの有無の確認
・ 各農園へのアクセス路の確保
・ 取組のコーディネーターや仕組みが必要
・ りんご園で犬の散歩
取組 7 いいづな推しりんごプロジェクトに対する意見・アイデア
・ 乾杯をシードルで
・ りんごの品種数を活かしたボードゲームの開発
・ 町内の飲食店でりんごジュース・シードルなどの提供
・ りんごかるたの普及 かるた大会
・ 利きりんごジュース大会
・ 誕生日にシードル/りんごジュースをプレゼント
・ 若者会議（県大参加者） ボードゲームで起業したい

○取組 4 「りんご園活用プロジェクト」

- ・ まずコンテンツの充実以前に、環境整備が必要であるとの意見が出た。トイレや駐車場の整備など、受け入れ環境の調査を行えるとよい。
- ・ コンテンツとしては農業体験を主軸としつつ、例えば写真コンテストを開催して人を呼び込み、農地を体験できる取組等の意見が出た。



A 班の発表の様子

○取組 7 「いいづな推しりんごプロジェクト」

- ・ 「りんごの町」としての文化をつくるために、町内の飲食店でシードルやりんごジュースを常に提供できる環境があるとよい。
- ・ りんごの品種を活かしたボードゲームの開発や「りんごかるた」、「利きりんごジュース大会」といったイベントの開催や、町民の誕生日に町からシードルやりんごジュースを贈る文化を定着させるなどのアイデアが出た。

B 班のワークシートと発表内容

取組 4 りんご園活用プロジェクトに対する意見・アイデア
・花めぐりのなかにりんご園の花見も入れたプラン
・りんご花見会場でお花見弁当
・複数のりんご園の花見会場でそれぞれ異なる スイーツ、ジュースの提供
・散歩
・あえてフリー（公園化）
・りんご園を歩くウォーキング散歩コース
・雪上スノーシューウォーキング
・摘果、芽摘み 社員研修プログラム
・人工授粉 援農体験
・みつどんを探せ！
・みつどん×りんご園 写真コンテスト
・春 花見 ズームで実施
・夏 りんご園で BBQ
・秋 りんご狩りと欠席者（来町できない人）バーチャル（ファミリー、年配者）
・冬 剪定体験、枝集め、スノーシュー、ホットアップルサイダー
・青空会議の募集 アップルサイダー付
・婚活パーティー
・みつどん りんご 50 品種レジャーシートの作成
・遊休りんご園をつくる
・りんごの木で建てたログハウス、山小屋
・満開宣言 Facebook、Instagram…その他
・イベント用 きれいなりんご園の選定 課題→トイレ、駐車場
・作業体験
・受粉（養蜂体験）
・スノーシュー、ハイキング
・雪上キャンプ
・りんご畑で収穫→調理→食事ができる プログラム体験
・親子・ファミリー
・保育園（地元の）
取組 7 いいづな推しりんごプロジェクトに対する意見・アイデア
・町のなかから盛り上げる
・23～25 玉りんごを鏡餅にのせる習慣普及
・町民向けりんごの木オーナー制度
・名刺つくれる 機械、仕組み みつどん or 推しりんご

○取組 4 「りんご園活用プロジェクト」

・りんご園で人工授粉を行えばよいとの意見が出た。気候変動の影響で、農家が受粉させたいタイミングにハチが来ないことがある。剪定作業の遅れなどで手が回らない状況もあるため、開花時期に花を見ながら人工授粉を体験できるようなプランがあればよいという意見も出た。



B 班の発表の様子

○取組 7 「いいづな推しりんごプロジェクト」

・名刺に推しりんごやみつどんを入れることはすぐに取り組めそう。農家は商談の際にも自分の名刺を持っていないことが多いため、町内の施設（カンマッセいいづなにプリンターがあるらしい）で、名刺を簡単に作成できるとよい。何種類かのテンプレートから選んですぐに名刺がつけられる環境があればよい。

- ・ 現在、町外向けで定着している、りんごの木オーナー制度を町民向けのものをつくるとよい。
- ・ もう取組んでいる人もいるが、小ぶりのりんごを鏡餅にのせる文化を飯綱町発祥として盛り上げていけるとよい。

C班のワークシートと発表内容

取組 4 りんご園活用プロジェクトに対する意見・アイデア
・ヨガ リトリート
・飯綱町のりんご園でしか味わえない美しい景観や自然を見て楽しんでもらう
・剪定枝 焚き火放題
・りんご園+アウトドア ・スノーシュー、ノルディックスキー、スモーク
・チェーンソー、バックホー、操作体験（荒廃地）
・りんご園で 焚き火、ピクニック、ウェディングフォト、プロポーズロケーション、隠れた動物探し？、ぼーっとする大会
・みつどん使って宝探し 時間つぶしに
・ウェディングフォト（サンクゼールと連携して）
・自然体験を子どもにさせたいと思う家族層
・都会の生活に疲れた若者
・人生の節目を迎えるカップル
・インバウンド
取組 7 いいづな押しりんごプロジェクトに対する意見・アイデア
・直売所統一 りんご品種カード
・温泉で高坂りんご酢サーバー（100円でくるくるまわるやつ）
・押しりんご+押しスイーツ+押し酒
・単品種Tシャツ（ブラッシュアップ）
・利きりんごジュースゲームを今あるイベントに出張参加
・カルタ、カード 多品種みつどん
・かるた→押しりんご名刺のフォーマットをつくる
・五感で味わう りんご品種
・神経衰弱でもカルタでも活用の幅がありそう
・カード 品種説明にも使えるので直売所や農家も活用できる
・温泉客
・保育園・小学校→家族への波及
・温泉で利きりんごジュースを実施した。 客層はスキー客、団体、子ども、大人まで、りんご農家
・イベントブースで200円で実施。帰りに買って帰る効果もあった
・県や楽天でつくったかるた

○取組 4 「りんご園活用プロジェクト」

- ・作業の邪魔にならないかたちでりんご園を活用する方法を検討した。例えば、開花時期にりんごを目や鼻で楽しみながらヨガを行う企画や、3月頃に剪定作業で出た枝で焚火大会ができたらいい。アウトドア好きを取り込めるようなサービス展開をする。冬季に、スノーシューでりんご園や森を散策する企画も挙がった。
- ・また、重機やチェーンソー、バックホーなどの体験してみたいという人は結構多そうだ。保険の問題はあるが、実現できればおもしろい。



C班の発表の様子(取組4)

○取組7「いいづな押しりんごプロジェクト」

- ・あるチームから「りんごかるた」の試作が昨日届いた。今は「シ」の札が多く難易度が高いが、小学校で大会を開催したり、大人向けには文字を隠した上級編などで楽しめそう。また、このカードで、「神経衰弱もできそう」や、「直売所での品種の説明にも活用できそう」といったアイデアが出た。
- ・対話のなかでは、利きりんごジュースの企画がとても好評のため、もう少しイベントに出張できればよいという意見や、現状の直売所は農産物が主なため、りんご関連のグッズをまとめて販売できる場所があればよいという意見も出た。



C班の発表の様子（取組7）



会議終了後、取組1 クッキングアップル活用プロジェクトの取組である「ホットアップルサイダー」の試飲をしている様子